

チ ャ ッ ク リ ス ト

様式 2

I 基本的なことから

チ ャ ッ ク 項 目	工 夫 し た こ と が ら
I-1 みどり豊かでゆとりある良好な住環境	I-1. 既存樹木の存置、公園側に連続した新設の樹木配置、園庭の面積確保により緑豊かでゆとりのある計画とする。
I-2 多世代が定住でき、永く住み続けられ心の豊かさにもつながる、まちづくり	I-2. 地域の子育て世帯への園庭開放やイベント時の地域開放など取り組んでいく。
I-3 ユニバーサルデザイン等の導入	I-3. 渡り廊下、ピロティにより、雨の当たらない動線計画としており、縦動線には EV を設置する計画とする。
I-4 安心・安全の生活の確保	I-4. 道路側に対し、防犯カメラを設置し、地域住民や園児の安全を見守る計画とする。
I-5 都市の熱環境への負荷の低減	I-5. 高反射率塗料や保水性舗装を採用し熱負荷を抑える計画とする。
I-6 地形を活かし、遠景や近景を眺めメリハリのあるまちづくり	I-6. 本隣地が公園と隣接するという立地を活かし、道路側に建物を配置し、園庭と公園が連続する計画とする。
I-7 魅力ある場所をつくるデザイン	I-7. 現状と同じくアースカラーをベースに一部外壁にポイント色を入れることで、落ち着きがありつつも園児の利用に適した明るい外観を計画する。
I-8 美しく開放された空間づくり	I-8. 園児の安全確保を優先する
I-9 地区計画や建築協定などの積極的活用	I-9 自治会・近隣住民の方々と協議を行い、今後も地域貢献をしたい。

チェックリスト

様式 3

Ⅱ 技術的なことから (計画の作り方と数値目標)

チェック項目	工夫したことから
Ⅱ-1 地形を活かし、魅力ある住宅地景観をつくることやまちなみの連続性への配慮	既存擁壁存置。造成はしない計画とする。 既存擁壁H= 0.9 m・L= 69.5 m
Ⅱ-2 高さ、容積率、建ぺい率について	最高高さ 10.2m (既存本館) 容積率 67.1% (容積対象床 2426.52 m ²) 建ぺい率 40.5% 隣棟との間隔 10m
Ⅱ-3 近隣の建物の配置状況への配慮	北側隣地境界に面する園舎は、現況の2階建てから平屋園舎を計画し配慮している。
Ⅱ-4 周辺から見た都市景観への配慮	3階外壁をセットバックさせることにより、長大な面を作らない計画とする。
Ⅱ-5 オープンスペースや緑化スペースと歩行者動線	既存植栽存置。公園の植栽と連続性をもつように新設植栽を配置。
Ⅱ-6 建物の外壁面の後退の指標	外壁面後退 道路から 3.5m・隣地から 2m
Ⅱ-7 有効空地の指標	歩道設置 (無・有) W= m・L= m 敷地内空地 %
Ⅱ-8 敷地面積の規模の指標等	敷地面積 3620.79 m ²
Ⅱ-9 防犯性の高い良質な住宅ストック	オートロック、防犯カメラを設置し防犯性を高めます。
Ⅱ-10 景観デザイン	園庭側に遊戯室を設け、道路側のボリュームは2階建ての高さを抑えた計画とする。
Ⅱ-11 まちの庭園化	既存樹木の存置
Ⅱ-12 工作物などの作り方	フェンスH= 1.8 m・L=69.5 m 現況と同じ

*このチェックリストに書ききれない場合は、別紙に記入し添付してください